

第9回総務文教常任委員会 要点記録																	
開閉会日時	平成30年9月13日(木曜日)				開会	10:00		会議場所		別海町議会 委員会室1							
					閉会	11:30											
委員の出欠	1 番	小 椋 哲也	出席	5 番	松 壽 孝雄	出席	6 番	森本 一夫	出席								
	8 番	西 原 浩	出席	10 番	小 林 敏之	出席											
出席説明員	総務部長		竹中 仁	教育部長		山田 一志	総務部次長		今野 健一								
	教育部次長		石川 誠	総務課長		今野 健一	総合政策課長		佐々木栄典								
	財政課長		寺尾真太郎	税務課長		宮本 栄一	防災交通課長		麻郷地 聡								
	西春別支所長		田村 康行	尾岱沼支所長		福原 義人	学務課長		入倉 伸顕								
	生涯学習課長		石川 誠	給食センター長		入倉 伸顕	中央公民館長		内山 宏								
	西公民館長		田村 康行	東公民館長		福原 義人	図書館長		千葉 宏								
	郷土資料館長		千葉 宏	加賀家文書館長		千葉 宏	ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ館長		石川 誠								
	総務課主幹		齋藤 陽	総合政策課主幹		皆川 学	財政課主幹		角川 具哉								
	税務課主幹		松田 勝広	学務課主幹		谷村 将志	生涯学習課主幹		佐々木いずみ								
	総務課主査		山田 哲哉	防災交通課主査		武田 聖士	学務課主査		佐藤 亮								
	学務課主査		大山 晋作														
委員外の出席	議長		松原 政勝				傍聴者		0名								
事務局職員																	
会議に付した事件及び会議結果など																	
発言者			会議経過														
委員長	10番	小林	10:00 開会 開催概要説明 出席委員5名、欠席委員0名、委員外 議長1名														
委員長	10番	小林															
委員長	10番	小林	開会あいさつ														
委員長	10番	小林	【総務部に係る調査】														
委員長	10番	小林	議事1 提出議案調査について														
総務部長		竹中	概要説明														
委員長	10番	小林	(1)平成30年度別海町一般会計補正予算について														
総務課主査		山田	総務課所管分補正予算内容説明（地域情報通信施設整備事業ほか）														
委員長	10番	小林	質疑なし														
総合政策課主幹		皆川	総合政策課所管分補正予算内容説明（土地利用規制等対策費交付金ほか）														
委員長	10番	小林	質疑なし														
財政課主幹		角川	財政課所管分補正予算内容説明（基金繰入等歳入及び歳出）														
委員長	10番	小林	質疑														
委員	8番	西原	スポーツ振興基金、														

発言者	会議経過
委員長 10番 小林	10:00 開会
	開催概要説明
	出席委員5名、欠席委員0名、委員外 議長1名
委員長 10番 小林	開会あいさつ
	【総務部に係る調査】
委員長 10番 小林	議事1 提出議案調査について
総務部長 竹中	概要説明
委員長 10番 小林	(1)平成30年度別海町一般会計補正予算について
総務課主査 山田	総務課所管分補正予算内容説明（地域情報通信施設整備事業ほか）
委員長 10番 小林	質疑なし
総合政策課主幹 皆川	総合政策課所管分補正予算内容説明（土地利用規制等対策費交付金ほか）
委員長 10番 小林	質疑なし
財政課主幹 角川	財政課所管分補正予算内容説明（基金繰入等歳入及び歳出）
委員長 10番 小林	質疑
委員 8番 西原	スポーツ振興基金、生涯学習振興基金の残高は。
財政課主幹 角川	スポーツ振興基金は、平成29年度末残高で2,693万円、平成30年度末見込みで1,378万円。生涯学習振興基金は、平成29年度末残高で4億2,401万円、平成30年度末見込みで4億1,785万円。
税務課主幹 松田	税務課所管分補正予算内容説明（賦課事務経費ほか）
	質疑なし
委員長 10番 小林	(2)別海町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
財政課長 寺尾	条例の一部改正について内容説明
	職員住宅に使用していた住宅が古くなっていたこともあり空き家となっていた。解体事業を計画していたが、隣にあった町内会館の物置として使えないかと要望があった。町有のまま貸付も検討したが、不要な施設を持たずにコンパクトにしていく町の方針があるので、条例を整備して対応することとした。町内会に譲与する予定だが、町内会は登記できる団体ではないので、町長が認可して不動産登記できる団体とする予定。今後、ほかの町内会でも活用できる

第9回総務文教常任委員会 要点記録

委員長	10番	小林
委員	1番	小椋
財政課長		寺尾
委員長	10番	小林
委員長	10番	小林
総務部次長		今野
委員長	10番	小林
総合政策課長		佐々木
委員長	10番	小林
防災交通課長		麻郷地
委員長	10番	小林
委員長	10番	小林
防災交通課長		麻郷地
委員	1番	小椋
総務部長		竹中
委員	1番	小椋
総務部長		竹中
委員	1番	小椋
防災交通課長		麻郷地
委員長	10番	小林
委員長		小林
教育部長		山田

条例案とした。

質疑

ほかの町内会から問い合わせは。

いくつか問い合わせがあったが、地縁団体の認可を受ける手続きが若干煩雑なので二の足を踏んでいる様子である。

(3)その他

・別海町教育委員会委員の任命について

質疑なし

・放棄した債権の報告について

質疑なし

・平成29年度決算に基づく別海町健全化判断比率及び資金不足比率について

質疑なし

議事3 その他

(1)障がい者雇用の状況について

内容説明

障がい者雇用の状況であるが、別海町役場は、2.39%の雇用率となっており、法廷雇用率の2.5%を下回っているが、追加として雇わなければならない人数は0人である。医師、看護師、保育士など除外対象の職種もある。対象は、377人の2.5%である9.42人で、雇用要件は9名となり、現在9名雇用している。不適切な報告が報道で問題となっているが、別海町は問題なく適切に報告している。毎年障がいを持った人も募集している。

質疑なし

(2)第7次別海町総合計画審議委員会委員について

資料に基づき内容説明

資料で求めのあった審議委員会委員については、資料配布のとおりである。

質疑なし

(3)北海道胆振東部地震による停電に係る対応について

資料に基づき内容説明

質疑

べつかい乳業興社の廃棄量は。

まだ調査しきれていない。

開発と自衛隊から貸与を受けた9台の発電機の設置場所は。

水道施設2台、ふるさと交流館1台、福祉施設2台、マルチメディア館1台、給食センター1台、予備2台である。

水道は、停電でも大丈夫だったのか。

浄水の滅菌施設などに発電機を使用したけど、水道が出ること自体は1週間程度は問題ない。

自家発電がなければライフラインに影響するような施設はないか。

準備がしっかりしており、問題のある施設はなかった。メディア館の予備電源がなく、ホームページがダウンしたが、町有の発電機を常設した。災害協定を結んでいる建設業協会などから貸与された発電機は、農協に貸し出した。携帯キャリアの鉄塔の予備電源供給時間などの問題が明らかとなった。

停電に対する個人の家庭に対する啓発活動などは。

これまでも地震対策の一環として行っているが、今回の大規模停電を契機に、より一層取り組んでいきたい。

休けい 10:40

再開 10:50

【教育委員会に係る調査】

議事1 提出議案調査について

概要説明

第9回総務文教常任委員会 要点記録

委員長	10番	小林
教育部長		山田
学務課長		入倉
委員長	10番	小林
委員	8番	西原
生涯学習課主幹		佐々木
教育部次長		石川
委員	1番	小椋
生涯学習課主幹		佐々木
委員長	10番	小林
生涯学習課主幹		佐々木
委員長	10番	小林
学務課主査		佐藤
委員長	10番	小林
委員	1番	小椋
学務課主査		佐藤
委員	8番	西原
学務課主査		佐藤
委員長	10番	小林
教育部長		山田
委員長	10番	小林
委員	1番	小椋
学務課長		入倉
委員長	10番	小林
教育部長		山田

- (1)平成30年度別海町一般会計補正予算について
教育委員会補正予算概要説明
学務課所管分補正予算内容説明（いじめ・不登校問題対策事業ほか）
質疑
文化団体及びスポーツ団体の派遣費について、団体、補助率、金額など詳細を。
交通費と上限5,000円/日の宿泊費の補助をしている。高校は50%補助、小中学校の全道大会は100%補助、全国大会は50%補助。スポーツ団体の補助実績は、全国大会2件ほか。文化団体は、中春別中のリコーダーの大会、別海中央中のソロコンテスト、個人でのピアノコンクール、子供かるたなど。
スポーツは、小中で60%、高校で40%の比率。交通費、宿泊費の50%補助。団体競技が優秀な成績となっているケースが多い。
学校関係だけでなく、個人での出場も対象としているのか。
個人の活動も対象としている。交付規程に補助の範囲が決められている。町内に所在する団体、住所を有する個人、高校の在校生、地域選抜や基準記録などがある大会、町の代表として参加するなどの要件がある。
海外派遣事業の派遣先は、毎年カナダなのか。
酪農経営科は、毎年カナダに行っている。
- 議事2 所管事務調査について
(1)別海高等学校の支援策について
資料に基づき内容説明
・寄宿施設入居状況は、男子3名、女子6名。町内5名、町外4名。（中標津町3名、浜中町1名）
・教育振興会からの支援内容、別海高校の魅力についてチラシに掲載し、周知している。（今年度4回の新聞折り込みを予定）
質疑
「別海高校NOW」は、中学校への直接配布は行えるのか。
生徒への直接配布を検討している。
寄宿施設の学年割合は。
1年生男子2名、女子4名。2年生女子1名。3年生男女各1名。
- 議事3 その他
(3)北海道胆振東部地震による停電に係る対応について
資料に基づき内容説明
・時系列に教育委員会の災害対応状況を説明
小中学校、認定こども園の臨時休校・休園について
スポーツセンター、社会体育施設の電気を要する施設の開放中止
公民館は、通常どおりの開館
図書館、郷土資料館は、通常どおりの開館
給食センターは稼働付加（食材廃棄処分の被害額45万円、アレルギー対応給食の9月中の対応不可など）
質疑
万両屋とは。アレルギー給食の提供食数は。
万両屋は、中標津町のパン製造、米飯製造の業者。アレルギー給食の対応は、50食程度。
- (5)その他
パイロットマラソン大会の申込み状況について
・フルマラソン1,424名（187名増）、5kmマラソン472面（若干減少）、全体で1,896人の申込状況。

休けい 11:25

第9回総務文教常任委員会 要点記録

委員長 10番 小林

再開 11:26

- (4)特定事件（所管事務）の継続調査について
これまでの委員会協議、所管との協議に基づき、以下の論点により調査を行う。
- ①第7次別海町総合計画について
総合計画の策定経過、内容を継続調査する。
 - ②移住定住対策について
移住定住政策の先進地を視察調査する。
 - ③史跡旧奥行臼駅通所の保存整備について
保存整備事業の状況を現地調査する。
 - ④別海町学校施設等長寿命化計画について
計画の策定状況の内容を確認する。
 - ⑤小・中学校児童生徒の学力状況について
最新の学力状況を調査する。

委員長 10番 小林

11:30 開会